

## ICT を活用した授業のイメージをつくりましょう

教科 ・ 領域等	中学・高校 英語
授業タイトル・単元名等	教育出版 ONE WORLD 3 Lesson 2 Cranes and Wetlands
対 象 学 年	中学3年生
実 施 場 所	本校 2階 多目的教室（東）
ICT活用授業の内容	<p><b>授業のねらい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在完了を理解する (have/has+ 過去分詞)</li> <li>・ 電子フラッシュカードを使った効果的な語彙のインプット</li> <li>・ 学んだ文法を使って文を作る。</li> </ul> <p><b>授業の流れ</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① レッスンに出てくる新出単語を確認する。 ICTをつかった電子フラッシュカードを使用する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パワーポイントプログラムを使って、進出単語のチェックをする。</li> </ul> </li> <li>② 本文を通し読みする。教師のモデルリーディングに続いて生徒がコーラスリーディングをする。</li> <li>③ 文法知識の説明をする。</li> <li>④ 列ごとの生徒にピンク、黄色、水色の色画用紙を切ったカードを配る。「○○さんずっと～している」という意味になるよう、自由に語句を書かせる。(Ms. Saragai has been sleeping all day long など)</li> <li>⑤ ピンクには主語を、黄色には現在完了を使った動詞部分を、水色には「していること」をかかせる。</li> <li>⑥ カードを回収する。</li> <li>⑦ それぞれのカードを教師が組み合わせ、奇想天外な文章ができあがったらスクリーンに映し出し、皆で鑑賞し、音読して楽しむ。</li> </ol> <p><b>ICT活用のねらいと授業での位置づけ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子フラッシュカードを使うことにより、単語のインプットをより効果的にするとともに、さまざまなカードの使い方をプロジェクター上ですることで、より学習内容をの定着を図る。</li> <li>・ 生徒が作った語句を組み合わせた英文をスクリーンに映し出すことで、次はどんな英文が出てくるのか？と期待させることで、自然と現在完了形を覚えさせる。</li> </ul>
活用する ICT メディア	Microsoft Power Point
活用するコンテンツ等	Microsoft Power Point スライドショー